



# 香港 投資を推進し、 イノベーションを牽引

インベスト香港は2026年上半期、  
530億香港ドル超の投資を誘致

2

巻頭特集  
2026年上半期、堅調な  
香港の投資動向

4

特集：  
香港 - 中央アジア間の  
戦略的パートナーシップの  
拡大

6

国際イベント・  
スケジュール：  
今後のイベント  
情報をお見逃しなく

7

進出事例：  
日系企業による  
事業拡大の軌跡を  
探る

# 2026年上半期、堅調な香港の投資動向 活路開拓に向けたグローバル企業との協調

香港投資推進局（インベスト香港）は6月25日、毎年恒例の「海外・中国本土企業歓迎レセプション」を開催し、世界各国の企業から380名を超える幹部が一堂に会しました。ご参加頂きました各社に対し、香港での事業立ち上げや拡大を歓迎するとともに、香港のビジネス環境に対して寄せられた信頼と期待に謝意を表明しました。

同レセプションには李家超（John Lee）香港特別行政区行政長官も出席し、香港が有する揺るぎない競争優位性を挙げました。同長官は、香港の開放的でビジネスに優しいエコシステムや簡素かつ低税率の税制、さらに国際金融センターとシームレスに連携するコモン・ロー（英米法）体系を強調しました。香港の確固たる強みと数えきれないほどの機会、国際ランキングの順位上昇にも反映されています。



こうした戦略的優位性を活かし、インベスト香港は、香港が「トップクラスの双方向投資ハブ」として果たす独自の役割を推進することに尽力しています。海外直接投資の「誘致」を促進することで越境市場の架け橋となる一方、中国本土企業による「グローバル展開」を積極的に支援しています。

また、国の第15次五カ年計画および施政方針演説の主要施策と緊密に連携し、香港の質の高い経済発展を推進するための三本柱からなる戦略に注力していく所存です。



## 三本柱からなる戦略

### イノベーション＆テクノロジー（I&T）とニューエコノミーの推進

1

国家第15次5カ年計画と足並みを揃え、イノベーション＆テクノロジー、ライフ・ヘルステクノロジー、スタートアップエコシステム、そして「北部都会区」や「産業化エリート企業育成制度」等、新たな産業プラットフォームの成長を牽引し、香港における次なる成長の波をバックアップ

### 金融と専門サービス

2

国際金融センターおよび革新的な金融ハブとしての香港の地位をさらに強固なものにする。同時に、専門サービスのエコシステムを繋ぐことで、「金融＋テクノロジー＋専門サービス」の好循環を創出

### グローバル展開とグローバルネットワーク

3

「GoGlobalタスクフォース（Go Global Task Force）」の具体的な成果を促進し、中国本土企業の海外進出を支援する。あわせて、欧米の伝統的市場や「一帯一路」沿いの新興市場との連携を継続的に深化



動画はこちら：



# 香港の比類なき魅力、インベスト香港の 上半期実績で明らかに

インベスト香港の上半期実績では、前年同期比で堅調な成長を示しています。これらの最新の数値は、アジアへの事業拡大を目指す企業にとって、香港が最高のゲートウェイとしての揺るぎない地位であることを如実に物語っています。

## 2026年上半期 実績ハイライト

413 ▲9%\*

プロジェクト完了



\$53+ ▲36%\*

直接投資 (10億香港ドル)



8,600+ ▲6%\*

新規雇用創出



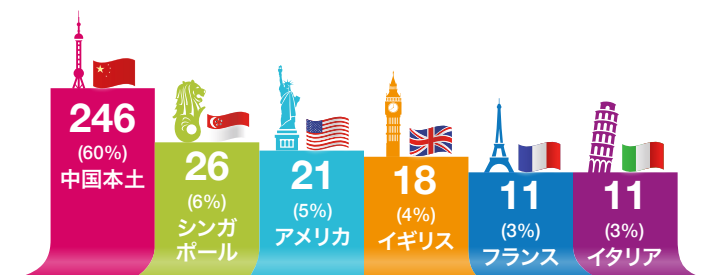
\* 前年同期

## グローバルな投資家（進出企業）

「Go Global Task Force」は、中国本土での力強い成長の牽引と同時に、香港域外から香港への事業拡大も支援してきました。企業の主な進出元は、欧州・南北アメリカ・アジアと多岐にわたり、「一帯一路」沿線地域（中国本土を除く）および欧州市場からの進出企業数は、いずれも堅調な増加を記録しています。

### 国・地域別プロジェクト完了件数 2026年上半期

#### 上位6カ国・地域

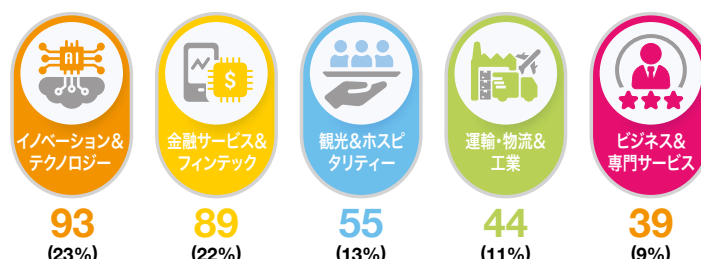


## 香港の戦略的経済成長に不可欠な主要セクターを縦横する産業

インベスト香港のポートフォリオは、国家の発展優先事項、特に香港の長期的な経済的強靱性にとって不可欠なセクターとの戦略的整合性を反映しています。イノベーションとテクノロジー分野は主要成長ドライバーであり、新規進出企業のうち最大のシェアを占めています。

### 業種別プロジェクト完了件数 2026年上半期

#### 上位5セクター



## 新資本投資者入境計画

### （投資移民ビザ：New Capital Investment Entrance Scheme (新 CIES))

新 CIES は強力な勢いで世界中の富裕層から強い関心を集めています。こうした国際資本とハイレベルな人材の流入により、世界トップクラスの資産運用ハブとしての香港の地位はさらに強固になり、ファミリーオフィス・エコシステムの成長も加速しています。

2024年3月1日 ~ 2026年6月30日

4,084

世界各地からの  
申請件数



2,442

正式承認（発給）  
件数



\$122+

投資総額（見込額）  
（10億香港ドル）



## 投資を呼び込み、成果を上げる

現体制の発足から4年間で、インベスト香港は以下の実績を達成しました：

\$2,500 億

香港ドル以上  
の投資誘致



32,000 件以上

の雇用創出



2,000 以上

のプロジェクト  
完了件数



インベスト香港は、「2025年施政方針演説」で掲げられた主要業績評価指標 (KPI) の達成に向けて積極的に取り組んでいます。具体的には、2026年から2027年までの2年間で、少なくとも1,200社の企業による香港での事業設立や拡大を支援する計画です。

# 香港と中央アジアのパートナーシップ 「一帯一路」の成長とグローバル投資を牽引



世界経済の勢いがますますアジアへとシフトする中、中央アジアは貿易・投資・産業協力における新たな重要拠点として急速に台頭しています。豊富な天然資源に恵まれ、主要な大陸横断回廊に沿った戦略的な立地を誇るこの地域は、「一帯一路」の質の高い発展を支える礎であり、エネルギーおよび資源安全保障において欠かすことのできない架け橋となっています。

こうした情勢において、香港は中国本土と中央アジア間のビジネスチャンスをつなぐ上で、唯一の立場にあります。世界トップクラスの金融市場と強固な法制度、および国際的なビジネス環境を活かし、このダイナミックな経済地域における主要なゲートウェイかつ信頼できるプラットフォームとして機能しています。また、双方向の投資を促進し、強い影響力を有するビジネスパートナーシップを確立し、この地域への円滑な市場参入と事業拡大を加速させています。

## ビジネスに多大な影響をもたらす使節団

2026年6月、李家超(John Lee)香港特別行政区行政長官は、現体制下で最大規模かつ最も広範な業界代表団を率いて、カザフスタンとウズベキスタンを訪問しました。この代表団には、香港および中国本土から75名の上級幹部が参加し、付加価値の高いビジネスチャンスの開拓に取り組みました。5日間の訪問では20件以上の戦略的交流が実施され、政府間および企業間分野で計96件の協力協定や覚書が締結され、その総額は16億5,000万米ドルを超えました。

これら一連の成果のうち、香港投資推進局(インベスト香港)は企業間MoU4件、および双方向投資を促進する協定7件の締結を仲介し、香港と中央アジア間の協力において重要な節目となりました。インベスト香港は、自らのグローバルネットワークやターゲットを絞ったビジネスマッチングを通じて、中国本土企業が香港を「付加価値を生み出すレバレッジポイント(足掛かり)」として



活用し、鉱物資源やバイオ医薬品、デジタル・カダスター(土地台帳)などの主要分野において、中央アジアの優良パートナーとネットワークを構築できるよう支援しました。さらに、両国における相互投資フローの強化に向けて、複数の政府機関や業界団体と協定を締結しました。

代表団はさらに、カザフスタンのカシム=ジョマルト・トカエフ(Kassym-Jomart Tokayev)大統領やオルジャス・ベクトノフ(Olzhass Bektenov)首相をはじめとする主要な政府高官、ならびにウズベキスタンのシャフカト・ミロモノヴィチ・ミルジヨエフ(Shavkat Mirimonovich Mirziyoyev)大統領やアブドゥラ・ニグマトヴィチ・アリポフ(Abdulla Nigmatovich Aripov)首相らとハイレベルな会談を実施し、長期的な経済協力に向けた共通の決意を再確認しました。



「中国本土企業のグローバル展開支援タスクフォース(GoGlobalTask Force)」の発足後、初の主要な海外訪問となる今回のミッションは、香港-カザフスタン-ウズベキスタン間の絆を強化するとともに、「Hub to Hub(拠点間)」協力モデルを推進しました。また、香港が『Super Connector(強力な架け橋)』および『Super Value Adder(高付加価値創出者)』として有する独自の優位性を実証し、「一帯一路」構想に新たな推進力をもたらしました。

## 中央アジア進出の足掛かりとしての香港

急成長を遂げ続けるこの回廊における香港の価値は、その独特な制度的強みに支えられています。「一国二制度」の枠組みの下、香港は高度に国際化された商業エコシステム等、中国本土からの強力な支援と恩恵を受けています。コモン・ロー(英米法)体系を採用し、資本の自由な流動性、および簡素かつ競争力のある税制を備えた独立関税地域として、中国本土市場と深く連動した、世界で親しまれているビジネス環境を提供しています。この独自の位置

づけに加え、「一帯一路」構想における香港の役割が相まって、香港は国境を越えた資金調達・取引構造設計・リスク管理・地域展開のための理想的な拠点となっています。

制度的な優位性にとどまらず、香港は最高の「スーパーコネクター」としての役割も果たしています。インベスト香港や広範な政府の取り組みを通じて、香港は世界中の政策決定者、起業家、投資家、専門サービスプロバイダー、技術パートナー、物流事業者を引き合わせ、付加価値の高い協業を実現しています。このエコシステムは、市場参入を加速させるだけでなく、持続可能な成長に必要なパートナーシップや事業運営能力の構築も支援しています。

## 資本市場と資源分野における相乗効果の創出

企業各社は、香港の独自の強みを積極的に活用してこの新興国市場に参入し、地域の潜在力を長期的な商業的パートナーシップへと結びつけています。鉱業分野では、Jiaxin International Resources社が香港の資本市場プラットフォームを活用し、香港証券取引所 (HKEX) およびアスタナ国際取引所 (AIX) への二重上場を含め、国境を越えた事業展開を強化しています。一方、紫金鉱業 (Zijin Mining) はウズベキスタン政府から厳選された 90 力以上の有望な投資候補地リストを交付され、河南裕迪科技 (Henan Yudi Technology) もカザフスタンにおける大規模な金鉱山プロジェクトの交渉を進展させています。

中央アジアの政府系ファンドや企業からの高い需要により、金融サービス分野における債務ファイナンス・新規株式公開 (IPO)・オフショア人民元商品などの新たな機会が創出されています。今回のミッション

期間中、香港取引所 (HKEX) は、資本市場の連携を強化し、国境を越えた複数の証券所での上場促進に向けて、AIX とアスタナ国際金融センター (AIFC) との間で計 2 件の戦略的 MOU を締結しました。これと並行して、中国国際資本 (CICC) は越境での戦略的協定 7 件を締結、Bosera Funds (International) は Halyk 銀行と提携し、さらに eWTP Arabia Capital はヘルスケア分野に代替的なベンチャー資金調達モデルを導入しています。

## 成長に向けた信頼のプラットフォーム

ユーラシアの要衝に位置する中央アジアでは、中国・キルギス・ウズベキスタン鉄道や拡大を続ける「中国・欧州鉄道 익스プレス」を原動力として、物流および航空の情勢が急速に変貌を遂げています。こうした勢いを活用し、キャセイパシフィック航空と香港空港管理局は、貨物・航空ネットワークの接続拡大を加速させています。JD Logistics はウズベキスタン

運輸省と提携し、スマート物流機能の開発を推進する一方、PCCW はデジタル・通信インフラ整備支援に関する合意を締結しました。Jardine Holdings もインフラ関連投資を積極的に展開し、香港の商業的プレゼンス強化に寄与しています。



香港は、高度なヘルスケアソリューションのグローバル展開に向けた進出拠点にもなっています。Walvax Biotechnology との提携に加え、広州医薬集団 (Guangzhou Pharmaceutical Group) は、地域における医薬品登録を加速し、流通ネットワーク拡充に向けた基盤構築に着手しました。また、Koln 3D Technology は、カザフ腫瘍学放射線学研究所 (Kazakh Research Institute of Oncology and Radiology) と協力し、先進的な 3D 医療ソリューションを臨床応用へと統合しています。

香港はまた、中央アジアの農業およびデジタル貿易のエコシステムにおいても、戦略的プレゼンスを高めています。Soy-Sky Farmtech は、カザフスタンの国営穀物公社 Food Contract Corporation JSC と協定を締結したほか、一帯一路総商会 (Belt and Road General Chamber of Commerce) および Brilliant Resource Global Commodity Exchange (Brilliant Resource 国際商品取引所) は、カザフスタンとウズベキスタンを網羅する三者間協定の成立を仲介しました。

## ビジョンを現実に

中央アジアは地域間の連携強化と経済の多角化の後押しを受け、多岐にわたる分野で機会が拡大する高成長市場として台頭しつつあり、インベスト香港の同地域への戦略的関与は、さらに深化しています。2022 年のカザフスタンでのコンサルタント事務所



の開設、および 2025 年 10 月の事前視察団に続き、今回のハイレベルな視察は、長期的なパートナーシップ構築への継続的な取り組みを強調するとともに、中央アジアと中国本土を結ぶ主要な双方向ゲートウェイとしての香港の役割を強化するものです。

今回の使節団による視察は、インベスト香港の広範な戦略の一環であり、従来の市場にとどまらず、中東・ASEAN・アフリカ・東欧・南米・中央アジアなど、将来性が見込まれる地域にビジネス代表団を率いてまいりました。今回が過去最大規模の視察である一方で、これは中国本土企業のグローバル展開を支援するとともに、香港の国際的プレゼンスをさらに強化するというインベスト香港の継続的な勢いを裏付けるものです。

インベスト香港は今後、投資フローをさらに深化させるため、いくつかの優先事項に注力します。非鉄金属分野では、専門基準の相互承認を推進し、世界の鉱業資本を香港に誘致することに注力します。農産物分野では、人民元の国際化に合わせて貿易量を拡大します。並行して、国際的な金の取引センターおよび越境資産運用ハブとしての香港の金融インフラを強化し、カザフスタンの金埋蔵量やウズベキスタンのエネルギー・農業セクターといった中央アジアの資源と、香港の資本市場とを結ぶ、より強固な連携体制を構築します。

96 件におよぶ MoU 調印は、あくまで序章に過ぎません。インベスト香港は、政府各局・規制当局・業界パートナー・企業と緊密に連携し、今回の戦略的訪問によって創出された機会を最大限に活用するとともに、包括的な支援を通じて効果的な実行を確保していきます。香港の真の価値は、ビジョンを現実のものとし、中央アジアの潜在力を経済変革と成長の強力な原動力へと転換することにあります。

# 国際イベント・スケジュール

七月

**13-14**

**WebX 2026**

WebX は、アジア最大級の Web3・暗号資産カンファレンスの一つです。パネルディスカッション、技術ワークショップ、大規模展示会、VIP 交流会を通じて、国境や垣根を超えた機会を提供します。インベスト香港も出展し、同分野に関する最新情報をご提供します。

ブース番号：s 24

イベント登録はこちら：<https://webx-asia.com/ja/?lang=JA>

開催場所：ザ・プリンス パークタワー東京

主催：Coin Post

■ [www.webx-asia.com](http://www.webx-asia.com)

**23**

**ITS Forum 2026**

香港の交通・運輸業界における主要な旗艦イベントの一つである本フォーラムは、業界のリーダー、イノベーター、政策決定者に対し、成果を発表し、パートナーシップを強化するためのプラットフォームを提供するとともに、知見を共有します。また、香港およびその先の広範な地域において、より相互接続されたスマートな交通エコシステムの構築を支援します。

開催場所：香港理工大学

主催：The Society for Intelligent Transportation Systems Hong Kong, the Department of Land Surveying and Geo-informatics at The Hong Kong Polytechnic University

■ [www.itshk.org/event/from-smart-mobility-to-ai-driven-mobility-shaping-the-future-of-intelligent-transportation](http://www.itshk.org/event/from-smart-mobility-to-ai-driven-mobility-shaping-the-future-of-intelligent-transportation)

八月

**8月20日  
|  
9月13日**

**ASEAN Film Festival 2026**

2026年の同映画祭が好評を博して帰ってきます。東南アジア各地から厳選された映画の名作の数々を上映します。この文化の祭典は、地域・国境を越えた相互理解を深め、多様な物語を称え、香港と ASEAN 諸国間のクリエイティブ産業における協力を促進することを目的としています。

開催場所：香港

主催：Hong Kong-ASEAN Foundation

**24-26**

**Global Unicorn Summit**

ハイエンドなイノベーション・テクノロジー交流および投資・資金調達協力のプラットフォームとして、本サミットには、世界中のユニコーン企業、隠れたユニコーン企業、高成長テクノロジー企業、国際投資機関、研究機関、政府機関、および専門サービスプロバイダーが一堂に会します。

開催場所：Hong Kong Convention and Exhibition Centre

主催：Hong Kong Ta Kung Wen Wei Media Group

■ [www.wenweiart.com/about](http://www.wenweiart.com/about)

九月

**9-10**

**Belt and Road Summit**

今回のサミットには、「一帯一路」沿線および関連する国・地域の政経界の要人が一堂に会し、多国間協力について深く意見交換を行い、実質的なビジネスチャンスと共に開拓していきます。

開催場所：Hong Kong Convention and Exhibition Centre

主催：香港特別行政区政府および香港貿易發展局

■ [www.beltandroadsummit.com/conference/bnr/en](http://www.beltandroadsummit.com/conference/bnr/en)

**17**

**Startup World Cup Asia Finale 2026**

グローバルな「スタートアップ・ワールドカップ」シリーズにおける重要な地域大会として、香港大会は世界の資本とスタートアップ・エコシステムを結びつけます。インベスト香港も本イベントのパートナーとして参画し、スタートアップ、資本、そしてグローバルな成長に向けた活力あふれるゲートウェイとしての香港の重要な役割をアピールします。

主催：Pegasus Tech Ventures

■ [www.startupworldcup.io/asia-finale-regional-2026](http://www.startupworldcup.io/asia-finale-regional-2026)



# RDCグループ、香港の寿司市場において「手の届く贅沢」を再確認

プレミアムな日本食レストランを展開するRDCグループは、香港の非常にグルメな消費者への対応とスムーズなサプライチェーンの活用により現地での事業拡大を図る

「私たちの究極のビジョンは、信頼を築き、本物の日本の食文化を世界と共有することです」と、RDC Hong Kong Company Limited マネージングディレクター 田端敏氏は述べています。

1986年に日本で設立されたRDCグループは、2024年9月、同社の主要ブランド回転すし「がってん寿司」を香港にオープンしました。以来、RDCは現地での存在感を一気に高め、香港の洗練かつ成熟した消費者市場を開拓するために、戦略的な立地に3店舗まで拡大してきました。

## 本物の職人技で飲食業界の新たな展望を開拓

同ブランドは、職人とお客様が創りだす双方向的な食体験を通じて「手の届く贅沢」を提供することで、競争の激しい香港の飲食業界において独自の地位を確立しています。新鮮な魚介類と日本から直輸入した特製醤油を用いて、本格的な江戸前寿司を提供する「がってん寿司」は、料理が出来るまでのプロセスそのものをお客様の目の前で披露するライブパフォーマンスへと昇華させています。「私どもの熟練の職人が、活気あふれる魚市場のような空間で、お客様の目の前で一貫一貫心を込めて仕上げます。これにより、卓越したコストパフォーマンスと没入感のある食体験を両立させています」と田端氏。

## プレミアムな品質を保証するスムーズでスピーディーなサプライチェーン

香港の世界トップクラスの物流インフラと、グルメな消費者層は、RDCの海外展開における自然な選択肢となりました。田端氏は、「この都市は、日本からの新鮮な

食材を効率的に供給するサプライチェーンという明確な強みを有しており、日本国内の厳選されたネタを鮮度抜群の状態、各店舗にダイレクトに届けることが可能です」と語ります。こうした揺るぎないエコシステムが、厳格なエンドツーエンドの追跡可能性と食品安全管理を支え、香港の規制基準および日本の品質基準の双方への完全な準拠を実現しています。

同氏はさらに、「日本の食文化を深く理解する真の美食家である香港の消費者は、当社のコンセプトと職人たちの技を熱狂的に受け入れてくれています」との見方を示しました。

## 香港を拠点とした事業拡大

市場参入以降、RDCはターゲットを絞った拡大戦略を推進し、住宅街の家庭からトレンドに敏感なプロまで、多様な顧客層にアプローチしてきました。田端氏は、「香港は、この地域の経済および物流の中核拠点として機能しており、地域戦略の策定やアジア全域での拡大を調整する拠点として極めて重要な役割を果たしています」とした上で、「香港市場はダイナミックで先見性があり、質の高い食体験に対する需要も旺盛です。ですから、私どもは長期的な可能性に大きな自信を持っています」と述べ、2030年までに出店数を10店舗に拡大する計画を明らかにしました。

“香港は、この地域の経済および物流の中核拠点として機能しており、地域戦略の策定やアジア全域での事業拡大を調整する拠点として、極めて重要な役割を果たしています。”

RDC Hong Kong Company Limited  
マネージングディレクター  
田端 敏氏



香港投資推進局（インベスト香港）は、RDCの市場参入と事業拡大を加速させるために同グループのニーズに合わせた個別対応の支援をしてきました。田端氏は、「現地市場の理解、規制要件の対応、ビザや就労許可の申請手続きなど、インベスト香港の支援のおかげで、スピーディーかつ効率的に事業を拡大することができました。インベスト香港は、当社の成長の道のりにおいて欠かせないパートナーです」と締めくくりました。

## RDCグループ

- 同社は、寿司、ラーメン、とんかつ、天ぷら、伝統的な和食ビュッフェなど、多岐にわたるカテゴリーで30以上の独自のレストランブランドを展開
- 世界中に260店舗以上を展開しており、日本国外では中国本土、香港、韓国、台湾、ベトナムに拠点を設置
- 2024年9月に太古 (Taikoo) に香港1号店をオープン、続いて2026年に銅鑼湾 (Causeway Bay) および屯門 (Tuen Mun) に出店

🌐 [rdcgroup.co.jp](http://rdcgroup.co.jp)





中華人民共和國香港特別行政區政府

InvestHK 投資推進局



24/F, Fairmont House  
8 Cotton Tree Drive  
Central, Hong Kong



(852) 3107 1000



[investhk.gov.hk](https://investhk.gov.hk)



[enq@investhk.gov.hk](mailto:enq@investhk.gov.hk)

Find us on Social Media



本資料に記載されている情報は、一般的な参考情報として提供されています。インベスト香港は、情報の内容が最新かつ正確であるよう最善の努力を払っていますが、本資料に含まれる情報の誤り、欠落、または誤った表明（明示的か黙示的かを問わず）について一切の責任を負いません。また、本資料の利用、誤用、または依存に起因するいかなる損失、損害（間接的な損失、損害を含むが、これらに限定されない）についても、一切の責任、義務、または責任を負いません。本出版物に含まれるすべての情報について、評価を行う責任はご自身にあります。ご利用の前に、個別に当該情報をご確認ください。弊局には特定の資料、企業、またはサービスプロバイダーを推奨する意図は一切ありません。